

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月06日

計画の名称	長野県全国都市緑化フェア開催に伴う公園再生によるにぎわいの創出												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成32年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	長野県												
計画の目標	長野県の中信地区における県営公園（松本平広域公園と烏川溪谷緑地）は平成31年度春季における全国都市緑化信州フェアの会場として計画を進めており、緑化フェアにおいて多くの来場者を受け入れるべき再整備が急務となっている。緑化フェアにおけるにぎわいの創出とともに、フェア開催後においても多くの県民が活用したいと思える公園づくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,000	A	3,220	B	0	C	780	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	19.5	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	H31末	H33末
1	両公園の利用者満足度調査を行い、H29当初満足度からH33末満足度を向上させる。 両公園における利用者満足度を調査する。	100%（対H29満足度）	110%（対H29満足度）	120%（対H29満足度）
2	松本平広域公園の年間有料施設利用者数を86万人(H27)から90万人(H33)に増加。 松本平広域公園における有料施設利用者数を調査する。	86万人/年	88万人/年	90万人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国家的関連事業（全国都市緑化フェア）の開催に向けた都市公園の整備等に関する事業：A、C全て。H29満足度を1.0として、中間と最終で調査する。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	長野県	直接	長野県	-	-	都市公園事業(松本平広域公園)	園路、便益・休憩・運動施設等 142ha	松本市						3,070	1.14	-	
	A12-002	公園	一般	長野県	直接	長野県	-	-	都市公園事業(烏川溪谷緑地)	園路等 50ha	安曇野市						150		-	
											小計						3,220			
												合計						3,220		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	長野県	直接	長野県	-	-	全国都市緑化信州フェア 推進事業	計画策定・会場整備・撤去	松本市ほか						780	-	
		都市公園の整備（A-1、A-2）にあわせ、全国都市緑化フェアを開催することにより、公園の満足度を向上させる。																	
												小計						780	
											合計						780		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
「長野県建設部社会資本総合整備計画評価実施要領」に基づき実施する。	整備計画の交付期限の最終年度に予定しているすべての要素事業が完了した後、速やかに実施する。（翌年度へ繰り越す要素事業がある場合は、当該事業が完了した後、実施する。）
	公表の方法
	長野県公式ホームページにおいて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度の目標値には達しなかったものの、施設整備により高い満足度の維持に寄与したものと考えられる。 ・松本平広域公園の有料施設利用者数については、新型コロナウイルスの影響により令和2年度～令和3年度に大きく減少したものの、緑化フェア開催年である令和元年度の利用者は116万人（対H27比135%）と増加しており、施設整備が公園のにぎわい創出に寄与したものと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月～6月の51日間で開催された緑化フェアの来場者数は49万人であり、緑化フェアの開催が公園のにぎわい創出に大きく寄与している。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが利用者数に大きく影響しており整備効果の検証が困難であったため、今後もアンケート調査を継続し公園利用者の声を把握することにより、公園のさらなる魅力向上に努めることとしたい。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	両公園の利用者満足度調査を行い、H29当初満足度からH33末満足度を向上させる。		
	最終目標値	120%（対H29満足度）	評価年度であるR3年度に烏川溪谷緑地において管理事務所改修工事のため利用者アンケートを実施することができなかったため、R2年度満足度91.5%とH29満足度84.7%を比較すると、対H29比108%であった。目標達成には至らなかったものの満足度は向上しており、今後も向上していくものと考えられる。また、事業費が大きい松本平広域公園の利用者アンケートの自由記述では、満足の評価理由として本計画期間中に整備したバラ園等が挙がっており、本計画期間における施設整備が利用者の満足度へ貢献していると考えられる。一方、不満の評価理由として有料施設の料金設定や消灯時間など公園施設の管理運営に係る部分が挙げられており、今後は施設整備と管理運営の両面で利用者ニーズに対応することにより、引き続き利用者の満足度向上を図ることとしたい。
	最終実績値	108%（対H29満足度）	
2	松本平広域公園の年間有料施設利用者数を86万人(H27)から90万人(H33)に増加。		
	最終目標値	90万人 / 年	R元年は116万人（対H27比135%）となり緑化フェアによる知名度向上によるものと考えられるが、R2年度以降は新型コロナウイルスの影響により総合球技場（アルウィン）での試合が無観客で開催された等の理由により、利用者数が減少したものと考えられる。
	最終実績値	29万人 / 年	

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	長野県全国都市緑化フェア開催に伴う公園再生によるにぎわいの創出		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成32年度 (4年間)	交付対象	長野県

